

「いまこそオープン JPCOAR2020」 開会挨拶・趣旨説明

JPCOAR運営委員会委員長 江川和子

JPCOAR（オープンアクセスリポジトリ協会）

2016年7月設立 会員数656機関

<https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/>

オープンアクセスリポジトリ戦略（2019～2021年度）

<http://id.nii.ac.jp/1458/00000125/>

2020年度 活動計画（2019年度総会資料）

<http://id.nii.ac.jp/1458/00000217/>



2020年度活動計画①

1. オープンサイエンスの推進に寄与するため、研究データの公開、流通に関する先導的な取組みを行う。（担当：研究データ作業部会）

- （１）新JAIRO Cloudにおいて研究データ公開を促進する活動を検討・実施する。
- ★（２）研究データの公開、流通促進を図るため、データベースレスキュープロジェクトを実施する。
- ★（３）大学ICT推進協議会研究データマネジメント部会（AXIES-RDM部会）と連携して、RDM事例形成プロジェクト等の研究データポリシー雛形作成に向けた活動を実施する。
- ★（４）若手研究者向けの研究データ管理に関する教材を作成する。

2. オープンアクセスを推進する学術情報流通の基盤を整備し、コンテンツの流通、活用を促進する。（担当：コンテンツ流通促進作業部会）

- ★（１）コンテンツ収集に関する調査結果にもとづき、ワークフローを考慮したオープンアクセスインフラ機能を検討する。
- ★（２）著作権ポリシーのデータメンテナンスを検討し、オープンアクセスのインフラを整備する。
- （３）JPCOARスキーマの普及・維持管理を継続して実施するとともに、永続識別子の活用やライセンスの付与の促進活動を行う。
- ★（４）新JAIRO Cloudへの移行に伴う参加機関の利用のサポートをする。
- （５）データを用いてオープンアクセスの状況や識別子の普及状況等を調査・分析する。

2020年度活動計画②

3. オープンアクセスリポジトリを支えるコミュニティとしての機能を強化する。（担当：コミュニティ強化・支援作業部会）

- ★（１）協会HP、Facebook、twitter、情報誌CoCOAR での情報提供及び情報発信を行う。
- ★（２）JAIRO Cloud コミュニティのサポートを継続するとともに、現有のウェブサイトやコミュニティツールのあり方を整理し、新JAIRO Cloudへの移行に伴う次年度以降のサイト運営計画を作成する。
- ★（３）JPCOAR の活動成果普及、地域単位でのコミュニティ活性化をはかるため、図書館総合展のフォーラム開催及び地域でのイベントプログラムを実施する。
- （４）会員機関のグッドプラクティスを情報誌やイベントで取り上げて情報共有を図る。

4. オープンアクセス、オープンサイエンスの推進に対応できる人材育成を行う。（担当：人材育成作業部会）

- （１）研修の編成、内容について継続的に検討・評価を行う。
- （２）基礎研修：オープンアクセス（機関リポジトリ運営を含む）に関する基礎的な研修を実施する。
- ★（３）専門研修：JAIRO Cloud新バージョンの紹介・操作説明会等を実施する。

5. 協会の活動基盤を強化し、JPCOARのブランド力を高める。
（担当：運営委員会）（略）

「COVID-19以降の社会に向けたオープンアクセスの加速について」（2020年6月8日 オープンアクセスリポジトリ推進協会運営委員会） <http://id.nii.ac.jp/1458/00000216/>

- 「ウィズコロナ」「アフターコロナ」の社会において、感染拡大の予防・収束と教育・研究活動の両立を持続的に実現するには、教育・研究のデジタル・トランスフォーメーションをさらに拡大・加速し、かつ、オープンな情報として活用できる環境を整備する必要がある。
- 教育活動においては、遠隔授業のインフラ整備だけでなく、教育コンテンツのオープンアクセスをさらに推進していく必要がある。
- 研究活動においては、デジタルイゼーションとオープン化の推進、さらには、研究データの共有や公開を促進するオープンサイエンスの重要性が増している。
- リポジトリ・コミュニティ＋教育・研究コンテンツを生み出す主体である教員・研究者コミュニティの連携・協力が必要。